

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者慶祝事業費〔金婚祝状贈呈事業〕							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	5	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	高齢介護		課		高齢福祉		係	課長名	伊野宮 崇
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書 (ページ)	51	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市の区域内に居住し、住民基本台帳に登録されており、婚姻届出50年を経過した夫婦。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象者(婚姻届出50年を経過した夫婦)が毎年度どのくらいいるのか把握することは困難である。				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 祝状を贈呈し、金婚を祝うことにより、市民の高齢者に対する敬愛の精神と高齢者福祉について理解と関心を高め、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげる。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 対象指標が不明なため、成果指標は活動指標と同数になる。				
	③ そのために何をしましたか。 東大和市において金婚を迎えた夫婦を祝う。全部事項証明書(戸籍謄本)又は外国人の場合は婚姻届受理証明書を添えて申請する。月1回程度、大安や友引の日を選び、支給決定された夫婦に対し、祝状を窓口において支給する。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支給者数。この活動指標を増やすために、申請できる期間を2年度間とし、市報に年複数回掲載し、ホームページでも周知して、該当になる夫婦にはできる限り多く申請してもらうように積極的に事業展開をしている。				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	組	—	—	—			
	成果指標	②の数値	組	42	49	38			
	目 標	②の目標値				49	38	38	
目標値設定の考え方 前年度実績と同様に設定した。									
3 経費	活動指標		③の数値		42	49	38		
	事業費(実績)		円	94,134	144,383	18,366	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	94,134	144,383	18,366			
		特定財源	円						
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	412,650	412,200	415,500			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	506,784	556,583	433,866				
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和58年度								
	(2) 環境の変化 当時、高齢者人口の増加に伴い、在宅介護サービスの拡充が求められていたことを背景に開始された。年度により申請数に増減はあるものの、高齢化が進む中で、常に一定のニーズがあると考えられる。								

事業名称	高齢者慶祝事業費〔金婚祝状贈呈事業〕				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	贈呈品の充実				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	特になし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	市報・ホームページの記事掲載				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】				
	事業は主観的な満足には資するが、客観的な意義については検討を要す。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
他市状況調査					